

令和 8 年 度

事 業 計 画 書

公益財団法人広島市産業振興センター

I 基本方針

最近の広島経済は、新広島駅ビル（ミナモア）の開業による駅周辺の活性化、インバウンド需要の拡大などの明るい話題があり、再開発や相次ぐホテル建設などに加え、設備投資も堅調に推移しているものの、デフレからインフレへの転換による物価上昇を受けて個人消費の回復力は弱く、米国関税問題や中東情勢などの影響もあり、主力の自動車製造を中心に輸出や生産の不透明感が続いている。また、地元就職したい企業がないなどの理由により、広島の将来を支える若者の転出超過が全国最多となっており、若者が志向するデジタルやサービスなど新たな産業の創出・育成や、学生・U I J ターン希望者などへの地元優良企業の存在周知が喫緊の課題となっている。

特に、本市企業の 99%以上、就業者の 70%以上を占める中小企業においては深刻な人手不足、事業承継の困難さ、人件費や原材料費の高騰によるコスト増など、複合的に経営を圧迫する要因が引き続き存在しており、自社の経営状況に合わせて A I、I o T の導入による生産性向上、デザインによる製品・サービスの付加価値向上や販路開拓などに取り組み、業務効率化や競争力強化を図る必要がある。

こうした状況を踏まえ、本市経済の屋台骨として地域の雇用の創出や市民の安定した生活を支え、本市の持続的な成長を牽引する中小企業の生産性向上や付加価値創出に対する経営・技術の両面にわたる支援を一層強化し、主体的に経営課題に取り組む中小企業や創業者の挑戦を全力でバックアップする。

まず、経営面の支援については、中小企業の抱える様々な課題解決のための窓口相談や専門家派遣、販路拡大のための見本市への出展助成、新たな産業の創出・育成のための新技術・新製品の早期事業化を目指す新規ビジネス事業化支援を行う。

また、創業予定者及び創業間もない中小企業者に対しては、引き続き、創業チャレンジ・ベンチャー支援事業や創業支援コーディネータによる支援などにより、地域に新たな雇用を生み、産業活動のダイナミズムを高める創業・ベンチャーを経営・資金・人材の 3 面から総合的に支援する。

一方、技術面の支援については、技術指導・相談、依頼試験をはじめとする各企業の個別のニーズに応じた技術支援を行うとともに、高性能な試験研究機器の導入、製品開発や技術開発を目指した研究会の開催、技術者研修の実施、アドバイザーの派遣などを通して、地域の中小製造業の技術力やデザイン力の向上を支援する。

とりわけ、地域の基幹産業である自動車関連産業については、脱炭素化や電動化等への対応が求められているところであり、研究会や技術講習会等の開催、企業、大学等との共同研究・開発により、各企業における技術的課題の解決や技術開発等を支援する。

また、デザイン関連分野においては、ものづくり企業とデザイナーとのマッチング、コーディネート等により、デザイン力による製品・サービスの付加価値向上を支援する。

これらの取組については、圏域経済の活性化などを目指す広島広域都市圏の連携中枢都市として、構成市町（令和 8 年 2 月末現在 33 市町）と連携し、その圏域に所在

する企業等を対象として、講習会やセミナーの開催、デザイン関連分野の支援などの事業を実施する。

なお、令和9年竣工予定の基町再開発ビル（カミハチクロス）に広島商工会議所をはじめとする経済団体や行政の中小企業支援機関等を集積することで、地域の中小企業をワンストップで支援し、広島経済界の新たな価値創造拠点となる「広島産業経済センター（仮称）」が構築されることとなっており、当財団の経営支援機能等を、広島ミクシス・ビルからカミハチクロスに移転する予定としている。

Ⅱ 事業計画

1 公益目的事業

(1) 企業の経営基盤強化、創業等の支援に関する事業(公益目的事業1)

中小企業の経営基盤の強化、創業等への支援を通じて地域経済の活性化に寄与することを目的として、次の事業を実施する。

① 経営基盤の強化

ア コーディネータによる支援

12,895千円

経営、技術及び情報分野の専門的な知識と経験を有するコーディネータが、中小企業者の経営や技術上の課題解決に向けて継続的に支援する。

イ 窓口相談事業（県市連携）

7,849千円

専門家等による相談窓口（広島県西部地域を含む。）を設置し、原材料価格の高騰等により、収益減少などの影響を受けている中小企業者等の資金繰り、ICT化、外国人労働者雇用、働き方改革、BCP対策、インバウンド対応等の経営課題や事業承継、知的財産、法律問題などの相談に応じる。

ウ 制度融資等相談事業（名称変更）

80千円

資金繰り等の問題を抱える中小企業者に対して、セーフティネット保証に係る相談や各種融資制度の紹介を行う。

エ アドバイザー派遣事業

6,358千円

(ア) 経営支援アドバイザー派遣 140回

原材料価格の高騰等により収益減少などの影響を受けている中小企業者、「女性と若者が輝く企業」認定事業者、「ザ・広島ブランド」認定事業者及び不認定事業者等に対して、専門家を派遣し、生産性向上、販路開拓、人材育成、ICT化、外国人労働者雇用、働き方改革、BCP対策、インバウンド対応等に関する助言を行う。

(イ) 事業規模拡大支援アドバイザー派遣 16回

創業後3年以上10年未満の創業チャレンジ・ベンチャー支援事業認定者等で、事業規模の拡大を図ろうとする者に対して、専門家を派遣し、新製品開発や多店舗展開などに関する助言を行う。

(ウ) 中小企業団体等支援アドバイザー派遣 8回

事業協同組合や商店街などの中小企業団体等が実施する研究会に対して、専門家を派遣し、イベント企画、販売促進、共同事業などに関する助言を行う。

(エ) 障害者経営支援アドバイザー派遣 10回

障害のある事業主や創業予定者に対して、専門家を派遣し、経営課題の

解決や創業に向けての課題に関する助言を行う。

(d) 景気対応等経営支援アドバイザー派遣 3回

セーフティネット保証制度の認定を受けた中小企業者、広島市の基幹産業である自動車関連製造業を営む中小企業者、突発的な自然災害等により売上減等の影響を受けている中小企業者等に対して、専門家を派遣し、喫緊の課題に関する助言を行う。

(e) 里山・離島活性化支援アドバイザー派遣 9回

中山間地域・離島地域の中小企業者に対して、専門家を派遣し、地域資源等を活かした新商品や新サービスの開発、販路開拓、6次産業化等に関する助言を行う。

オ 中小企業等人材育成事業（広島広域都市圏） 6回 940千円

中小企業経営者等を対象に、経営体質の強化や企業の成長を支える人材を育成するため、経営戦略や販売促進等に関するセミナー(オンラインセミナーを含む。)を開催する。

② 時代をリードする技術・商品の開発

ア 新規ビジネス事業化支援事業（広島広域都市圏） 12,278千円

新たな産業の創出・育成のため、新技術・新製品の早期事業化を目指す中小企業者等を対象に、助成金、専門家派遣等の支援を行う。

[支援の内容]

(ア) 事業化支援助成金

事業化計画のブラッシュアップ、試作品の機能、性能及び品質に関する評価及び改良、販路開拓等に要する経費を対象に助成金を交付する。

- ・助成率：対象経費の1/2以内
- ・限度額：300万円
- ・交付先数：4社

(イ) 専門家派遣 1件につき、2年間で10回以内

専門家を派遣し、事業化計画のブラッシュアップや販路開拓の段階における課題解決のための助言を行う。

[募集・募集時期]

- ・募集：年1回
- ・募集期間：令和8年3月中旬～4月下旬

イ 見本市等出展助成事業（広島広域都市圏） 2,158千円

中小企業者等が研究開発により実用化又は商品化したものについて、見本市等(オンライン見本市を含む。)へ出展する経費を対象に助成金を交付する。

- ・対象経費：見本市等の小間料、会場整備費（デジタルコンテンツ制作費等を含む。）等
- ・助成率：対象経費の1/2以内
- ・限度額：20万円

- ・ 交付先数：１０社
- ・ 募 集：年２回
- ・ 募集期間：第１回 令和８年２月１３日～３月２７日
（４月下旬から令和９年３月までに開催される見本市等への出展）
- 第２回 令和８年６月中旬～７月下旬
（９月から令和９年３月までに開催される見本市等への出展）

ウ 販路開拓支援事業

全国の大企業や産業支援機関等と連携した企業間マッチングネットワークを構築している、国、自治体、民間企業等が運営するものづくり分野での販路開拓支援サービスを活用し、中小企業者等の販路開拓を支援する。

③ 個性と魅力ある商業の振興

ア 中小企業団体等支援アドバイザー派遣（再掲） ８回 〔２４５千円〕

事業協同組合や商店街などの中小企業団体等が実施する研究会に対して、専門家を派遣し、イベント企画、販売促進、共同事業などに関する助言を行う。

イ いい店ひろしま事業

７００千円

コロナ禍による生活様式や消費行動の変化により、従来は優秀とされていた店舗演出や接客などの商業機能の社会的な評価が大きく変わってきていることから、令和７年度に引き続き「いい店ひろしま顕彰事業」を休止し、他の事業への統合を含めて、事業の実施方法等の見直しの検討を行う。

なお、顕彰店舗に対する店舗魅力度の維持・向上を図るため、「いい店ひろしま応援事業」については引き続き実施し、継続的に支援する。

〔いい店ひろしま応援事業：支援の内容〕

- ・ 広 報： 顕彰店舗の周知・利用促進を図るため、ホームページやInstagram等の広報媒体を活用し、受賞店舗の魅力や商品をPRする。

また、顕彰店舗の知名度向上と売上増加を目的に、公式Instagramを活用したキャンペーンを実施する。

④ 特長のある創業の支援

ア 創業支援コーディネータによる支援

４，１７６千円

新商品・サービスの企画・開発、新規出店、マーケティング等に関する豊富な実務経験を有する創業支援コーディネータが、創業者の発掘から情報提供、各種相談、マッチングなど、創業時における課題解決に向けて継続的に支援する。

イ 創業チャレンジ・ベンチャー支援事業

4, 551千円

有望な事業モデルを有する市内での創業予定者（創業3年未満の中小企業者を含む。）を募集選定し、事業計画策定から事業運営までを、専門家派遣、融資等により総合的に支援する。

なお、首都圏での移住促進系イベント等で当事業の紹介を行い、U I J ターン創業も支援する。

〔支援の内容〕

(ア) 事業計画策定支援

- ・専門家派遣：1件につき4回以内

(イ) 事業計画実行支援

- ・専門家派遣：1件につき2年間で12回以内
- ・認定者向け研修の開催：年4回

(参考)

融資「創業チャレンジ・ベンチャー資金」

- ・無担保無保証人
- ・限度額：3,500万円
- ・貸出利率：年0.5%

〔計画件数〕

(ア) 事業計画策定支援 21件

(イ) 事業計画実行支援 20件

〔募集・募集時期〕

- ・募集：年3回
- ・募集開始時期：第1回 令和8年4月
第2回 令和8年6月
第3回 令和8年9月

※募集期間は、概ね2か月とする。

ウ 創業者向け研修会等（広島広域都市圏）

884千円

創業予定者及び創業間もない中小企業者を対象に、創業に必要な知識・手法の習得や創業者が抱えている課題解決のための研修会等を開催する。

(ア) 創業者向け研修会 4日間×1回

広島市立中央図書館と連携して、創業や経営に必要な知識・手法について演習を交えて総合的な研修会を開催する。

(イ) ビジネスアイデアを創造するプログラム（新規） 5日間×1回

個人の感性をビジネスアイデアの創造につなげるプログラムを実施する。

エ 創業支援アドバイザー派遣事業 23回

708千円

創業予定者及び創業3年未満の中小企業者に対して、専門家を派遣し、創業時の留意点、市場動向、事業計画、資金計画等に関する助言を行う。

オ 日曜創業相談事業

238千円

平日、窓口相談を利用できない創業予定者等に対し、毎月1回日曜日に相談窓口を設置し、中小企業診断士等の専門家による事業計画の策定や資金調達等の相談に応じる。

⑤ 卸売業の振興

流通革新研究会の開催 2日間×1回

広島市、広島商工会議所及び協同組合広島総合卸センターと連携して、広島市内の中小卸売業を取り巻く環境変化に対応するため、時宜にかなったテーマを取り上げ研究会を開催する。

⑥ 情報の発信

ア 産業情報システムの運用

3,978千円

(ア) 中小企業支援施策、技術に関する情報発信

広島市及び関係機関の中小企業支援施策、工業技術センターの有する技術についてホームページで情報発信を行う。

(イ) 広島の企業情報の収集・発信

広島の企業の保有技術やノウハウ等を収集・登録・データベース化し、インターネットを通じて情報発信することにより、企業のビジネス機会の拡大を支援する。

イ 情報提供

460千円

(ア) メールマガジンの発行（広島広域都市圏）

中小企業に必要な経営や技術に関する情報、研修会等の開催案内、各種支援施策情報、支援企業の紹介などを掲載したメールマガジン「広島市産業振興センターNEWS」を発行する。

定期号（毎月1回）及び臨時号（不定期）

(イ) SNSの活用

X（旧 Twitter）等により随時、情報を発信する。

(ウ) 展示会への出展 1回

地元で開催される展示会に出展し、支援企業の事例紹介や支援制度の周知をすることにより、当財団の事業についてPRを行う。

(エ) ビジネスサポート事例集の作成

中小企業支援センター及び工業技術センターの支援事例集を作成・配布することにより、支援先企業の特長と支援による成果等を広く紹介する。

⑦ その他

経営革新等認定支援機関（国の認定支援機関）として、国の各種補助金をはじめ中小企業支援施策の活用を通して、中小企業の経営基盤の強化及び経営革新、創業等の支援を行う。

(2) 企業の技術向上に係る支援事業(公益目的事業2)

中小企業に対する技術支援を通じて地域経済の活性化に寄与することを目的として、次の事業を実施する。

また、引き続き、県・市の連携強化の一環として、研究会、研修会の共同開催をするなど利用者の利便性向上を図る。

① 広島市工業技術センターの指定管理

ア 技術研究会

1, 012千円

企業等の技術者の技術水準の向上を図るため、企業や大学等で構成する研究会を設け、技術的課題の解決や既存技術の応用研究に向けた取組等を通じ、会員企業等の製品開発、技術開発などを支援する（県市連携事業のカッコ内は、県担当回数で内数）。

(7) 広島表面処理技術研究会（県市連携） 9回（内県1回）

表面処理（めっき等）技術の向上、有害物質等の環境規制への対応及び若手技術者の育成

(4) 省エネルギー材料研究会 2回

省エネルギーに資する材料の開発、材料を活用した製品の高付加価値化及び部品の開発

(6) デザイン思考研究会（新規） 3回

デザイン振興策の検討を素材としたデザイン思考の研究

イ 技術者の研修

1, 502千円

中小企業の製品開発、設計、製造、評価・解析等の技術力の向上を図るため、材料・加工技術、システム技術及びデザインに関する基礎的知識及び専門的知識を体系的に習得できる研修会と最新の情報を提供する講習会・セミナーを開催する（県市連携事業のカッコ内は、県担当回数で内数）。

(7) 金属加工技術講習会 1回

金属加工技術に関する技術情報の提供

(4) 広島高分子材料研修会（県市連携） 4回（内県1回）

プラスチック、ゴム等の高分子材料に関する技術情報の提供

(6) 新素材技術講習会 1回

新素材、新材料に関する情報の提供

(5) 自動車のEV化に向けた技術講習会 1回

自動車のEV化に関する技術情報の提供

(8) 軽金属材料講習会 1回

軽金属材料に関する技術情報の提供（（一社）軽金属学会中国四国支部との共催）

(6) デジタルエンジニアリング講習会 1回

デジタルデータを利用した製品の設計・製造に関する最新技術や活用事例の紹介

- (キ) 解析・シミュレーション研修会 1回
構造解析などシミュレーション技術の習得を目的とした基礎講習及び実習
- (ク) 製品の振動評価技術に関する研修会 2回
製品の振動評価技術に関する基礎講習及び実習並びにプログラミング言語を用いた振動評価技術の解説と実習
- (ケ) データサイエンス研修会 1回
データ分析に関する基礎講習及び実習
- (コ) デザイン講習会 1回
デザインの開発事例及び最新動向等の情報提供

ウ 技術指導推進 11,895千円

- (ア) 工業技術支援アドバイザーの派遣（広島広域都市圏） 30回
中小企業の技術力の強化を支援するため、新技術・新商品開発や生産現場の工程等の改善などに関して専門家を企業に派遣し、具体的な技術的課題に対して指導を実施することにより、その解決を支援する。
・アドバイザー：技術士、大学教授等
- (イ) 技術指導相談 2,200件
中小企業の生産性、技術力及びデザイン開発力の向上を図るため、企業技術者の来所等による技術指導・相談を随時実施し、製品不良対策、品質管理等の企業が直面している技術的課題の解決、新製品・新技術の開発やデザインを活用した商品づくりを支援する。
- (ロ) 依頼試験・評価 18,000件
中小企業の技術力の向上と新製品の開発を促進するため、製品及び部品の物理的・化学的諸特性などについて、各種試験・評価及び技術指導を行うとともに、欠陥原因の究明など企業が直面している技術的課題の解決を支援する。
- (ハ) 技術情報普及
中小企業の技術力の向上を図るため、専門的かつ広範囲な技術情報入手・提供する。また、工業技術センターにおいて、技術相談・指導、依頼試験等の各種データをデータベースに蓄積するとともに、利用者・企業の利用状況を分析し、効果的・効率的な技術支援に活用する。

エ 工業技術センターの運営 265,675千円

- (ア) 試験研究設備利用 12,100件
新製品開発に必要とする試験研究設備を中小企業の利用に供する。

[主な設備利用機器]

a 分析・物理測定機器	10機	b 加工機器	18機
c 材料・組織試験機器	20機	d 精密測定機器	4機
e 電気測定機器	7機	f デジタルエンジニアリング機器	3機

g 環境・耐久性試験機器 7機

[令和8年度導入予定機器(市整備)]

・精密万能試験機

金属材料、樹脂材料等の引張、圧縮、曲げ等の静的強度特性を
評価するための機器

(イ) 工業技術振興調査

工業技術センターの事業充実を図るため、各種中小企業団体に対し、中
小企業における現状や課題、要望等について調査・分析を行う。

② 指定管理以外の支援事業

ア 環境関連分野の支援

218千円

環境経営に関する講習会を開催する。

・環境経営実践講習会(広島広域都市圏) 1回

環境経営の先進企業の取り組み状況等に関する情報提供を行う。

イ デザイン関連分野の支援

6,758千円

多様化した市場ニーズに即した商品開発力の強化と企業のデザイン開発力
の向上を図るため、デザインに関する振興事業を実施する。

(ア) ひろしまデザインネットワーク(広島広域都市圏)

デザイン関連団体や企業、大学等を会員とする「ひろしまデザインネッ
トワーク」を運営し、情報交換等を行うことにより、会員の相互連携を深
め、広島広域都市圏におけるデザインネットワークの構築とデザイン振興
拠点機能の強化を図る。

・先進事例に関するセミナー:1回

(イ) ひろしまグッドデザイン賞(隔年)(広島広域都市圏)

広島広域都市圏内の企業が開発したデザイン面・機能面で優れた商品及
びパッケージを「ひろしまグッドデザイン商品」として選定し、これを顕彰
することにより、圏内の産業界や住民等のデザインに対する理解と関心を
深め、デザイン関連企業の育成、商品の販売促進に取り組み、圏内産業の
振興を図る。

本年度は、令和7年度に選定した第19回受賞商品の広報、販路拡大の
支援を実施する。

(実施内容)

- ・広島広域都市圏内での展示販売会の開催
- ・東京での商談会等への出展
- ・第19回応募企業へのフォローアップ
- ・ホームページ保守・運用 など

(ウ) デザイナーマッチングサイトの運営(広島広域都市圏)

中小企業等が自社にふさわしいデザイン企業を探すことができるよう、
広島広域都市圏内のデザイナーに関する情報を発信するとともに中小企業

等への指導・相談、コーディネートを行うことにより、中小企業等によるデザイン活用を支援する。

- ・デザイン企業の新規登録 6 社
- ・デザイン企業の掲載内容更新 2 社

ウ 広島市児童生徒発明くふう展 608 千円

児童生徒の創意工夫を啓発し、発明意欲の向上を図るとともに、企業の知的財産に対する関心を高め、技術・製品開発を促すことにより、産業教育及び産業の振興に寄与することを目的として、児童生徒が自由な発想で作製した科学的、独創的でアイデアに富んだ作品を募集し表彰する。

- ・対象者：広島市内の小・中学校、高等学校等の児童・生徒であり、令和 8 年 4 月 2 日時点で満 18 歳以下のもの

エ その他

工業技術センターが実施する事業及び他機関が募集する各種研究開発補助制度等の情報提供を行う。また、中小企業の技術支援に資する事業として、企業又は中小企業団体等との共同研究、講習会の共催等を行う。

2 収益事業等

(1) 研修室等の管理運営 9, 536 千円

広島市から広島ミクシス・ビルの一部を借り受け、中小企業の研修や会議等の活動の場として、研修室、会議室（各 1 室）の貸出を行う。

(2) 広島ミクシス・ビルの管理 37, 001 千円

広島市、協同組合広島インテリジェントセンター及び株式会社データホライゾンからの委託を受けて、広島ミクシス・ビルの共用部分等の管理を行う。